

令和元年度

学生によるオレンジリボン運動

長崎純心大学 実施報告書



実施主体 地域包括支援学科「相談援助演習Ⅰ」

実施内容 街頭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

- ・長崎県福祉保健部こども政策局こども家庭課職員の方による講和（全国・長崎県の児童虐待の現状など）
- ・里親の方の講話
- ・オレンジリボンの作成

②実施期間に取り組んだ具体的内容

長崎県福祉保健部こども政策局こども家庭課・長崎県警本部少年課と連携し、長崎市浜町アーケードにて、児童虐待に関するパネルを掲示し、手作りオレンジリボンや児童相談所全国共通ダイヤル189が明記されたチラシ等を市民の皆様へ配布し、普及啓発活動に努めました。

③オレンジリボン運動を終えて・・・

・悩んだり困ったりしている子どもや親に相談する場所があることを知ってもらい、幸せな親子関係を築ける家庭が増えて欲しいです。今後、ボランティア活動に積極的に参加し、様々な社会問題の解決に少しでも貢献していきたいです。

・活動を通して、自分が学びを深めるだけでなく、多くの人にオレンジリボン活動を知ってもらうことの重要性を感じました。今まで児童虐待など私は絶対しないと遠いことのように思っていたのですが、意外と身近なものであることに気づきました。そのため、お互いに助け合うことのできる地域での関わり合いも大切だと思いました。



【学校名】 <http://www.junshin.ac.jp>